1 事業概要										課			学習・スホー	ーツ課	₿業No.	29	90		
事務事業名			地育力向上推進事業							<u>計</u>	一般	会計	1	佐屋ハー	Per	<i>μ</i> ±			
			地	ョノ厄	上推道	<b>些</b> 争美	尹未			区分 w		政策	美	施区分 終了	継	統			
士華区			·	主		記号	計画等名称			開	石	<u> </u>			於」				
	_	主要区分 戦略計画				3 地育力が支える学び合いで、生きる力をもち、心豊かな人材を育む													
	ľ					The state of the s													
根																			
					第	第 2 次飯田市教育振興基本計画													
拠	分	野別詞	計画		1														
	法令	令・例	規等																
				対象	//\-	小中学生													
Ī	事業目	的			ふるさと飯田とのつながりを知り誇りや愛着を持つとともに、ふるさと飯田に軸足を置きつつグローバルな視点・素養を持つ人材を														
			意		育成する。														
2事	業内容	容																	
						取組内容 経費の内容										事業費	<u>(千円)</u> 2,742		
								考え行動できる力を身に付ける				1 1 1 1 0001000000000000000000000000000							
							字校において、 を支援しました					LG(地域・地球)飯田こども未来事業							
							を叉援しました。 働くことの素晴		え、夢	飯田・宇宙教育推進事業						111			
	度						むことを目的に												
取	組	支援	、結り	ハジュ	ニアリ	リーダ	一育成講座を実	施しました。											
							キャリアアップ	研修会等を写	実施し										
				ア教育					,, ,										
				物館や	各団体	本と連	携し、飯田・宇	宙教育を推済	進しま										
		した。	0							その他の紹	¥費						0		
			받	■夕 (	粉値で	7丰++	ス活動量)	単位	平成	29年度		₹成30	年度		T年度	令和2年度			
活動指標		指標名 (数値で表せる活動量)							計画	実績	計i	田	実績	計画	実績	計画	実績		
		小中連携・一貫教育によるキャリア教育実施校数						校	28	_		28	28	28	28				
		職場体験を受け入れる事業所数						所	300	_		300	264	280	299				
		キャリア教育推進フォーラムの参加者数						人	300	305	- 3	300	-	300	280				
			子	算額			6,836	6,836				原内訳	及び補足	事項					
			決	算額			5,952	52 (そ)ふるさと寄附金											
	度		_	国庫支出金			0												
決算 (千円)		財源の 状況		県支出金			0												
				地方債			0												
		1		その他			4,952												
2 ≢	<b>双市</b>	坐士 拱		一般財			1,000												
番	会		DX 9		大	中													
号	計	款	項	目	事業	事業	予算額	決算額		中事業名(科目名称)									
		4.0	-	4			0.770	0.740		ラカウ L 声性シュニ / 松火声光連									
1	1	10	5	1	14	1	2,773	2,7	42 地	地育力向上連携システム推進事業費									
2	1	10	5	1	14	4	649	F	529 +	キャリア教育推進事業費									
_	Ė		Ľ	<u> </u>	ļ · ·	<u> </u>	0.0			/ 1 ドラフ 弘日]世歴									
3	1	10	5	1	14	5	3,284	2,5	570 L (	D LG(地域・地球)飯田こども未来事業費									
							,	,											
4	1	10	5	1	14	6	130	1	111 宇宙	宇宙教育推進事業費									
5																			
6																			
7																			
	り課題		市内小中学校28校において、LGの視点の実践活動を支援する「子ども未来事業」を実施し、地域への愛着や誇りを育むことに努めました。学校、家庭、企業、地域、行政が連携したキャリア教育の実践が進んでいますが、協議会などのキャリア教育を支援するための組織が現状と見合っていない部分もあるため、組織の見直しが課題となっています。  * 飯田型キャリア教育をさらに充実した内容としていくために、学校、家庭、企業、地域、行政がその目的や全体像を共有す																
上記	の課題	解決	飯田	型キャ	ァリア	教育を	とさらに充実した	と内容として	いくため	りに、学校、	家庭	、企	業、地域、	、行政が	その目的や	ウ全体像を	と共有す		

**のための有効策** るとともに、それぞれの役割を認識することが必要です。そのための組織の再構築が求められています。

地域や経済産業界と協働して地域人の育成につなげていきます。

飯田型キャリア教育を推進するために、キャリア教育推進協議会や研究委員会等の組織の再編及び、キャリア教育推進事業

とLG飯田こども未来事業を統合し、一体的に事業展開を図ります。またこの事業は学校教育課へ移管し、当課と連携しつつ

令和元年度事務事業実績評価表

次年度に向けて

の取り組み